

旧赤松家だより

令和元年 12月 25日



旧赤松家の門前には、今年も門松が設置されています。「見付宿を考える会」の皆様によるもので、高さが160cmもあり、大変立派です。赤煉瓦の門に緑の門松が映えます。ご来館の折に記念撮影はいかがでしょう。

【 則良没後 100年！ 】

見付の地に邸宅を構えた赤松則良は、天保12年(1841)11月1日に江戸で生まれました。

咸臨丸での渡米やオランダ留学を経て明治政府に出仕、海軍での仕事を通して日本の近代化に大きな功績を残しました。また、磐田原での茶園開拓にも取り組みました。予備役になった後に見付に移住しましたが、妻を病気で亡くしてからは、東京の長男宅に移り、大正9年(1920)9月23日、78歳10か月で亡くなりました。

令和2年(2020)は、則良の没後100年という記念の年となります。

則良の功績や貴重な歴史資料、赤松家と磐田との関わりなどに触れられる旧赤松家記念館に、ぜひお越しください。

<12/29~1/3の年末年始は休館日となります。ご承知おきください>

内蔵ギャラリーでは、1月4日から13日まで、平林真梨子さんによる、書と絵本の作品展『MARIKO 作品展 つづく空』<枕草子仮名作品他絵本(ずーっとおわらないよ)の展示>を開催します。平林さんは磐田市出身で、東京に在住、当ギャラリーでは初めての展示となります。ぜひご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『MARIKO 作品展 つづく空』

開催期間：1月4日(土)~1月13日(月)

* 休館日 1月6日(月)

開催時間：午前9時~午後4時30分

(最終日は午後4時20分まで)

入場料：無料

出展者：平林真梨子

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品より